

核兵器廃絶・放射能被害根絶・原子力空母いらない！

# 神奈川県原水協通信

発行：原水爆禁止神奈川県協議会  
横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A  
Tel 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577  
Mail- kana-gensuikyo@gol.com  
発行日：2019.10.15 No. 1 8 2

## 10月24日～31日は国連軍縮週間です

### 「ヒバクシャ国際署名」など多彩な活動を 全県各地・各団体で取り組みましょう。

軍縮週間について

1978年5月、国連が初めて開催した軍縮特別総会は、非同盟諸国や世界の反核・平和の世論に支えられ、核軍拡競争の全面停止、核兵器の使用禁止、核兵器の完全な一掃（廃絶）をめざす最終文書を採用しました。そして、世界世論を動員するために、国連創設の日である10月24日から1週間を「軍縮週間」として、全世界的な行動にとりくむことを宣言しました。

原水協の取り組みについて

日本原水協は、このよびかけにこたえて、核兵器廃絶の世論喚起と日本政府をはじめ各国政府に核兵器の禁止・廃絶を求め、毎年「軍縮週間」行動にとりくんできました。神奈川県原水協も、全県各地で様々な取り組みを行ってきました。

今年の「軍縮週間」について

今年の「軍縮週間」は、歴史的な核兵器禁止条約の採択から2年で調印国は79か国、批准国も32か国と前進し、条約の早期発効を焦点に国連総会第1委員会の審議が最大の山場となる中で迎えます。

全県各地で取り組まれています。

どんな活動でも草の根から……

## この秋、署名の飛躍を!!

10月11日、ヒバクシャ国際署名連絡会を代表してニューヨーク訪問中の日本被団協の藤森俊希事務局次長は、軍縮を論議する国連総会第1委員会のヨレンティ議長に、署名提出しました。署名数は、9月末時点で集約された**1051万7872人分**（目録）でした。この署名提出には、国連の中満泉・軍縮担当上級代表も参加し、「毎年届けていただき、本当に励みになっています。軍縮の議論は、非常に厳しい状況です。だからこそ、軍縮が国連の中心になればいけない」と述べました。

### 神奈川県の署名到達 83万1728人分 県原水協は33万479人分

神奈川県の被爆者国際署名の到達は、県生協連と県原爆被災者の会が50万1249人分で、県原水協が集約した署名数は、33万0429人分です。3者（県原爆被災者の会・県生協連・県原水協）の懇談会では、一日も早く100万を突破するためがんばろうと確認し、それぞれ秋の署名運動に全力を上げています。原水協に参加している団体や地域原水協でも署名の取り組みが強められています。建設労連から先日、事務所に1万2113人分の署名用紙現物の段ボール箱が届きました。建設労連の前回（2015年国連提出）の署名到達数77,073筆を越え89,186筆に到達しています。西さがみ原水協も、前回の2,324筆を大幅に突破し、8,631筆に到達する奮闘ぶりです。しかし、前回の到達にはまだ距離のある団体や地域も少なくありません。ゴールは、2020年9月です。目標と計画をもって、この秋、すべての団体・地域でヒバクシャ国際署名を飛躍させましょう。

## 中央行動として

日本政府に核兵器禁止条約への  
調印、批准を求める院内集会

◆とき10月24日（木）15時～16時

◆場所 衆議院第2議員会館第1会議室

◆内容

①「ヒバクシャ国際署名」の国連総会への  
提出の報告

②市民連合と核兵器禁止条約を支持する野  
党・国会議員に要望書提出

③要望書を受けて各代表の発言

どうぞ、ご参加ください。